

第2学年 算数科学習指導案（略案）

1. 単元名

・たし算とひき算 「100になるたし算の式を考えよう」

2. 本時のねらい

・答えが100になるたしざんを見つけながら、関数的な見方の素地を図る。
 (100玉そろばんで式を確かめることで、関数的な数の変化を視覚的に捉えることができる。)

3. 本時の展開

| 学 習 活 動 | 指導上の留意点（◇）と評価（☆） |
|--|---|
| <p>1. 答えが100になるたし算の式を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 答えが100になるたしざんの式を考えよう </div> <p>C 99 + 1 C 50 + 50 C 25 + 75 C 36 + 64 T たくさんできましたね。</p> <p>2. できた式を確かめる。</p> <p>T 100になることを確かめましょう。 (略：工夫算や筆算で確かめる。)</p> <p>T 100玉そろばんでも確かめられるかな。</p> <p>C (36 + 64) 100のうち、上から36個右に動かしたら、そのまま動いてないのが64個になればいい。 =やってみる=</p> <p>T いろいろな式でやってみましょう。</p> <p>3. 関数的な見方に気付く。</p> <p>C 36 + 64の36にもう一つ持ってくると37になるでしょう。そうすると64が63になってすぐ式ができる。</p> <p>C 37 + 63だね。</p> <p>C もう一つ動かしたらすぐ38 + 62ができるね。</p> <p>T 自分の考えた式をもとにしていくつも作ってみよう。</p> <p>4. 学習感想を発表する。</p> | <p>◇一人一台ずつ、100玉そろばんを用意する。</p> <div style="text-align: right; margin: 10px 0;"> $\begin{array}{r} 30 + 60 = 90 \\ 6 + 4 = 10 \\ 90 + 10 = 100 \end{array} \quad \begin{array}{r} 36 \\ + 64 \\ \hline 100 \end{array}$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>☆ひとつずつ動かすことで式が作れることに気付いたか。</p> |